

■地域(面)による景観要素と課題 ※黒字：景観要素、青字：検討すべき課題など

(1) 市街地地域

①駅前地域

- ・JR倶知安駅から駅前通りを見通すことができ、南東側に羊蹄山への眺望がある。
- ・駅前通りから正面にJR倶知安駅を見通す景観がある。なだらかな縁石により車道と歩道の境目を感じにくく、ゆとりを感じる駅前通りが形成。
- ・駅前通りの建物は、間口の狭い建物が連なり、歩く速度で店舗の種類や建物しつらえが変化し、低層の高さがある程度揃った街並みを形成するため、空が広く感じる通りになっている。
- ・駅前通りはデザインが統一された街灯や街路樹、花壇、ベンチ、のぼりにより賑わいやうおいが演出。
- ・「建築物に関する指導要綱」に伴う駐車場の確保のため、歩道から壁面が後退している建物もあり、新しい建物と既存建物で壁面線に凸凹がある。
- ・路地には店舗と住宅が混在。建物の高さは概ね2～3階建てで揃えられている。一部の建物は老朽化も見られる。
- ・店舗、ホテルの駐車場が道路に面して立地していることが多く、アスファルトで整備されたのみの寂しい印象。
- ・メルヘン通りは、街路整備に合わせ、電柱を民地側へ移設したことにより、すっきりとして落ち着いたある街路空間となっている。
- ・駅前からの眺めは、将来の新幹線開業時に、国際リゾート地の玄関口としての印象に大きな影響を与える。
- ・将来の新幹線開業を見据え駅前通りを中心に土地取引が進み、今後建物の更新も見込まれ、これまでの駅前通りの風景の変化が想定。
- ・空き店舗が増え、間口の歩道除雪がされないなど、歩きにくい環境になっている。



②住環境形成地域

- ・街路が格子状に形成され、幹線道路沿いには店舗・事務所などが多く、それ以外は戸建て住宅・2～3階建ての低層アパートなどの住宅が立地。
- ・公園などの公共施設などは緑化されているが、国道5号より東側の町道大通などの主要道路沿いの緑が少なく、緑のネットワークの繋がりが薄い。
- ・民地における未利用地の草木の手入れがされていない場所が見られ、周辺に雑然とした印象を与えている。
- ・近年宅地分譲したエリアでは、「くっちゃん型住宅ガイドライン」に基づいて1区画あたり100坪程度のゆとりある敷地形成が図られている。
- ・近年、アパート建築需要の高まりから、空き地が減少し、一時的な堆雪スペースの確保が課題になっている。
- ・アパートの増加などによる、町内会などのコミュニティ機能の希薄化が懸念。



③旭ヶ丘丘陵地域

- ・広大な面積の旭ヶ丘公園は、いたるところで遠景の羊蹄山を望むことができる。多目的広場やパークゴルフ場などの施設が整備され、町民の憩い・レクリエーションの拠点となっている。
- ・旭ヶ丘公園の山頂からは市街地を見下ろす眺望があり、公園の緑地越しに遠景には丘陵地帯や営農地域など、立体的な広がりを眺める。
- ・旭ヶ丘公園に連続した西部樹林地などは良好な動植物の生息地となり、散策路も整備され、町民の身近な自然を楽しむ空間になっている。
- ・道道倶知安ニセコ線には倶知安ICが設けられる予定であるため、周辺の土地利用の動きが想定される。
- ・駅西側のくときさんパークは、新幹線開業を見据え、駐車場や送迎場所等の交通施設が検討されており、公園機能の見直しが見込まれる。



(2) リゾート地域

①ニセコひらふ地域（国定公園地域、センタービレッジ地区、ペンションビレッジ地区、山田Ⅱ地区、大沢川沿い地区、羊蹄の里地区）

- ・リゾート地のメイン軸「ひらふ坂」は無電柱化されており、周辺は一部国定公園地域（第3種特別地域）に属し、中高層のホテルが立地。建築物の高さ制限を設けており、良好な視点場となるひらふ第1駐車場から羊蹄山の稜線を著しく阻害するような状況にはない。
- ・もう一つのリゾート地のメイン軸「道道343号」が無電柱化され、ひらふ坂近くでは高層のホテル、コンドミニアム、店舗等の中高層の施設が多く立地。サンモリッツ大橋に向かって建物の高さや密度を抑え、周辺の第2泉郷や羊蹄の里エリアでは落ち着いた住宅・別荘等が立地。
- ・ペンションビレッジ地区では、高密度の集合住宅型コンドミニアムへ増加傾向にある。外縁にあたる山田Ⅱ地区と大沢川沿い地区では、森林が多く残されており良好な自然環境を形成。
- ・道道343号沿いは無電柱化され、すっきりした街並みとなったため、様々な色彩・形状の広告物が目立つ。
- ・ホテル・コンドミニアムなどが集積しているエリアにおいては、建物の1階部分などに立ち寄りやすいような店舗等が少なく、連続性に欠ける空間になっている。



③樺山地域（樺山地区）

- ・道道343号沿いに農地が多く広がっており、沿道からは農地と森林越しに羊蹄山やニセコ山系の眺望が広がっている。
- ・道道343号沿いには飲食店や宿泊施設が立地し、建築物の仕様が統一された床面積が大きな戸建て型コンドミニアム群なども立地。
- ・一部農地で耕作放棄地化が見られるため、今後ホテルなどの開発の動きが想定される。



④市街地近接地域（東岩尾別地区）

- ・市街地に近く住宅地として早くから開けた地区で、森林と農地が多く広がり、道道343号沿いは、戸建て住宅のほかに事業所や倉庫も見られる。

⑤外縁地域（双子山地区、西岩尾別・旭・花園地区）

- ・双子山周辺では、主に農地や森林が形成され、古くから建設された農家や低層の別荘、住宅が点在し、近年、新たに建設された別荘や住宅も見られるようになってきている。道道343号沿いは基本的には森林に囲まれており、眺望は開けないが、ところどころ羊蹄山を真横に見通すことができる。
- ・森林が多く広がり、硫黄川などの尻別川支流が多く流れ自然環境に優れる。
- ・道道58号は工場や清掃センターなどが点在するが、基本は森林に囲まれており、ところどころ羊蹄山を望むことができる。花園牧場周辺一帯は、丘陵地であり美しい景観が広がる。
- ・町道岩尾別南3線からは、森林を抜けると農地越しに羊蹄山へ眺望が広がる。
- ・道道58号と町道岩尾別南3線沿線では規模の大きなリゾート開発の動きが見られる。
- ・スキー場の再運営が見込まれる旧国設ワイススキー場周辺や、国道5号からニセコひらふ地区へのゲートウェイとなる道道631号の沿道地域は今後景観形成の検討が求められる。



②花園ビレッジ周辺地域（花園ビレッジ地区、ノースヒルズ地区）

- ・花園スキー場やゴルフ場の施設が立地し、近年、大型の宿泊施設が建設され、順次計画的に開発が進む地区である。
- ・隣接するノースヒルズ地区は、森林の中にまとまって開発された別荘地群であり、建蔽率が他地区に比べて低く、最低敷地も1,000㎡以上であるため、敷地内の植栽にも配慮され、統一感が感じられる。
- ・自然が多く残されたエリアであり、大規模な開発であっても自然環境を生かした開発が求められる。



■地域(面)による景観要素と課題 ※黒字：景観要素、青字：検討すべき課題など

(3) 農業・森林地域

①営農地域

- ・ 東部及び南部の尻別川流域、西部の丘陵地、北東部の河岸段丘による台地に広大な農地が形成。
- ・ 北東部においては、中景には河川や河岸段丘によって自然と残された森林帯、遠景には羊蹄山の眺望があり、農地と森林との織り成す景観を形成。
- ・ 自然と共生した美しい風景のあるまちづくり、地域の景観や生活環境の保全向上のため、5つの地域で「地域資源保全隊」を結成、花壇等の植栽や農道の清掃活動、子どもたちへの収穫体験、勉強会などの啓発・普及活動を展開。
- ・ 沿道からの景観では、畑地から眺望が開け山並みを見通す構造となっているため、電線及び電柱が山並みの稜線を阻害している箇所もある。
- ・ 周囲の景観に影響を与えうる耕作放棄地となった農地が放置して荒地とならないような手立てが求められる。
- ・ 優れた農業景観のため、農道から写真を撮影する観光客の姿が見られるが、畑への侵入などによる農作物への被害が懸念。



②森林地域

- ・ 北部と西部は国有林、羊蹄山は道有林があり、緑豊かな山岳エリアとして遠景の景観に寄与。
- ・ 標高が高い箇所からは手前に広がる森林の遠景に羊蹄山を望む。
- ・ 農地と森林が混在している箇所もあり、森林が人の暮らしに近く存在することが感じられる。
- ・ 丘陵地の森林による地形やその密度、樹形は他地区の景観の背景としての重要な役割を担っており、四季の変化も重要な景観要素となっている。
- ・ 国有林内や道有林内、町有林内での散策路（フットパス）が整備され、自然を身近に感じられる。
- ・ 再生可能エネルギー施設等の立地や大規模な開発などによる地形や密度の変質などによる環境の変化などが懸念。



■軸(線)による景観要素と課題 ※黒字：景観要素、青字：検討すべき課題など

(1) 水辺景観軸（尻別川・倶登山川・ポイントサン川）

- ・ 尻別川や倶登山川などの水辺では、河畔林などの豊かなみどりと合わさったうおいある景観が形成。
- ・ 釣りやラフティング、カヌーなどのアクティビティのフィールドとしても親しまれており、河畔林のなかを通る川の流れや奥行を感じる景観、水上から街並みや山並みを望む連続的な眺めがある。
- ・ 尻別川リバーパークでは花壇やベンチなどの憩いの場として、また、サイクリングロードやパークゴルフ場、テニスコートなどのレクリエーション機能を備えた公園としての景観がある。
- ・ 富士見橋、倶知安橋、サンモリッツ大橋などの橋梁からの尻別川の水辺、遠方の山並みなどの眺めが確保できる。
- ・ 親水機能として河川敷からの水面を望む空間の確保については、防災上の安全性との両立が不可欠。
- ・ 2030年度開業予定の新幹線駅の西側において、新たな交通結節機能の検討に合わせた既存の旭ヶ丘公園の再編と身近な親水空間としての倶登山川のあり方について検討が求められる。



(2) 道路景観軸

①国道5号（北海道景観計画「景観重要道路」）

●市街地

- ・ 市街地とリゾート地区、周辺町村をつなげる道路であり、比較的規模の大きな商業施設が立地、まちの骨格としての賑わいが見られる。
- ・ 商業施設の高さは比較的低層で統一、羊蹄山への眺望が保全されているが、一部高い位置の店舗看板が目立ち、遠景の山並みに影響している箇所もある。
- ・ 尻別川を渡る倶知安橋からは尻別川とリバーパーク、遠景の羊蹄山やニセコ連峰を望むことができる。



●高砂・比羅夫

- ・ 高砂・比羅夫周辺では、カーディーラーや農機具店、工場等が沿道に立地、沿道にのぼりや看板が林立している印象。
- ・ 道道631号交差点からニセコ町界に、大規模な工場はあるが、大部分は農地が展開。
- ・ 道道京極倶知安線の交差点～サンモリッツ大橋までの区間は、ニセコひらふ地区へのアクセス道路となり、リゾート地へのルートとしての景観が課題。



●峠下

- ・ 峠下方面は、農地と工場等が沿道に点在し、開放的な雰囲気となっている。

②国道276号（シーニックバイウェイ「秀逸な道」設定区間（予定））
（北海道景観計画「景観重要道路」）

●市街地

- ・ 国道5号交差点から国道393号交差点にかけては古くから市街地が形成、住商工が混在した低層の落ち着いた街並みが続く。
- ・ 京極方面、小樽方面からの交通需要の高い道路であり、建設会社がボランティアで定期的に清掃活動を行うなど、地域の地道な美化活動が行われている。



●八幡・寒別

- ・ 八幡ビューポイントパーキングから喜茂別町までの約22km区間をシーニックバイウェイ「秀逸な道」に指定し、観光資源となることにふさわしい魅力ある道路景観として、道路管理者による走行環境の改善やシーニックバイウェイ活動団体による美化活動を重点的に展開していく予定。
- ・ 八幡方面には住宅地がなくなり、農地により土地が開けている。八幡ビューポイントパーキングでは、羊蹄山を眺望でき、シーニックバイウェイ活動団体（WAOニセコ羊蹄再発見の会）において、ベンチの設置・草刈り等により、おもてなしの空間づくりを展開。
- ・ 農地が連続し、特に羊蹄山を真横に見通すように道路が形成されていることから、手前の畑地から羊蹄山を見通す眺望が一定区間継続する。



■軸(線)による景観要素と課題 ※黒字：景観要素、青字：検討すべき課題など

(2) 道路景観軸 ※続き

③国道393号（北海道景観計画「景観重要道路」）

●出雲・瑞穂・琴平

- ・丘陵地に豊かに広がる森林があり、特に国道393号は左右に森林を臨みながら、カーブが続く道となっているため、動きのある連続的な景観がある※
- ・尻別川支流であるポイントサン川を通過するため、水辺の河畔林のある景色と眼前の広がる畑地、遠景の羊蹄山を見通せる景観となっている。



●扶桑・大和

- ・赤井川方面から樺立トンネルを抜け峠を下るルートは、丘陵地の森林景観が広がっており、遠くに羊蹄山やニセコ連峰の景色を望むことができる。



④道道631号ニセコ高原比羅夫線（北海道景観計画「景観重要道路」）

●国道5号～サンモリッツ大橋間

- ・国道5号からリゾート地区へ続くこの区間は、リゾート地区の玄関口と言える。
- ・サンモリッツ大橋より国道5号側は高さのある森林に囲まれ、橋からは視界が左右に開け、正面にニセコ連峰やスキー場のゲレンデを見通す景観が印象的。
- ・尻別川の河畔は豊かな森林が整い、現状景観を阻害するものは見られない。
- ・国道5号からサンモリッツ大橋を渡った右手には別荘地が建ち並び、遠景にはニセコひらふ地区の大規模ホテルやコンドミニアム等を望む。



●ひらふ坂

- ・ニセコひらふ地区の中心となる軸であり、両サイドが店舗・宿泊施設が立地。
- ・道路の斜面に向かって羊蹄山を望むことができる。
- ・無電柱化によりすっきりしたスカイラインを確保し、リゾート地らしい空間を形成。
- ・歩行空間の安全性も確保されている。

⑤道道343号蘭越ニセコ倶知安線（北海道景観計画「景観重要道路」）

- ・市街地とニセコひらふ地区・ニセコ町への重要なアクセス道路で、ひらふ坂周辺はニセコひらふ地区の中心となり、店舗が多く特に冬期間は人通りが多い。
- ・市街地から山田Ⅰ地区の三叉路までの区間は、農地や住宅地、樹林地などで構成されており、自然を感じられるルートになっている。
- ・山田Ⅰ地区の三叉路からサンスポーツランドくっちゃんまでの区間は、無電柱化され、歩道がレンガ敷であるなど、リゾート地としての道路景観づくりが行われている。
- ・サンスポーツランドくっちゃんからニセコ町界までの区間は、沿道に低層のコンドミニアム、ホテルなどが点在し、農地もあるなど、田園景観としてのゆとりのある景観を構成。
- ・字樺山や字岩尾別などのニセコひらふ地区から離れた沿道沿いにおいて、宅地開発等の動きが見られている。
- ・無電柱化により、矢羽根などの道路付属物の存在感が増している。



⑥ 道道478号京極倶知安線

- ・羊蹄山の北麓を通るルートであり、羊蹄山の存在感を感じながら走行できる。
- ・沿道は農地が連続しているため、常に羊蹄山を見える景色となる。
- ・道路の北側は尻別川に向かって平坦な土地が広がり、遠くの山地を見通せる開放感のあるルート。



⑦ 道道58号倶知安ニセコ線

- ・五色温泉に抜ける観光ルートで、高速道路(仮)倶知安ICのアクセス道路となる予定。
- ・町道花園リゾート線までの区間は主に森林に囲まれた峠になっており、沿道は目立った土地利用はないが、花園ビレッジ地区へのアクセス性が高いことから、大型ホテルの開発計画が予定されるなど、今後の沿道景観の変化が想定される。



⑧ 道道271号倶知安停車場線

- ・倶知安駅から国道5号までの町の賑わいの中心軸、都市計画マスタープランにおいて、「回遊軸」と位置づけている。
- ・道路の両サイドに商店街が形成し、高さが10m程度で街並みが連続している。
- ・空き店舗などにより、間口部分の歩道除雪がされていないところが見られ、歩行空間の確保が課題。



⑨ 町道西3丁目北・南通

- ・駅前(東側)の南北の町道であり、将来の新幹線駅へのアクセス道路としての位置づけが見込まれている。
- ・駅舎から市街地側に降り立った際に最初に目に入る道路であり、道路に面する建物が来訪者の倶知安への印象に大きく影響を与えうる。



⑩ 北3条西通(通称:メルヘン通り)

- ・街路整備に合わせた電柱の民地側への移設により、すっきりとして落ち着いたのある街路空間。



⑪ 町道岩尾別南3線及び町道花園リゾート線

- ・ニセコひらふ地区と花園ビレッジ、道道58号のアクセスとなる道路である。
- ・一部緑化された中央分離帯を設けた広幅員の道路があり、無電柱化もされており、開放感のある空間。
- ・花園ビレッジに向かう丘陵上に農地が広がり、羊蹄山を望むことができる。
- ・花園ビレッジ周辺は森林に囲まれているが、アクセス性の良さから、近年コンドミニアム等の開発の動きがみられ、今後の沿道景観の変化が想定される。



■軸(線)による景観要素と課題 ※黒字：景観要素、青字：検討すべき課題など

(2) 道路景観軸 ※続き

⑫ 町道比羅夫樺山線

- ・ 国道5号と道道343号のアクセスルートとなる。比羅夫側では両サイドが農地、道路の前面と背面に羊蹄山とニセコ連峰を望むことができる良好な道路景観。
- ・ 比羅夫大橋では尻別川を望むことができる。
- ・ 比羅夫大橋・樺山分校間は道路幅員が狭く、森に囲まれたの沿道景観を形成。
- ・ 険しい地形に整備された道路のため、大型車の通行は困難。



⑬ 町道羊蹄登山線

- ・ 羊蹄山登山口に向かう道路。
- ・ 左右が農地、正面に羊蹄山を望む景観を形成。



⑭ 町道西6号富士見線

- ・ 国道393号から道道478号京極倶知安線へのアクセスとなる町道。
- ・ 道路の両サイドが農地であるため、羊蹄山、ニセコ連峰の眺望できる。



⑮ 町道西3号扶桑八幡線及び町道西3号八幡線

- ・ 国道276号から赤井川方面への国道393号への代替路となる町道と、尻別川リバーパークサイクリングロードへのアクセス道路。
- ・ 両サイドが農地であり羊蹄山やニセコ連峰などを望む農村景観を形成。



⑯ 尻別川リバーサイドサイクリングロード

- ・ 尻別川の河川敷沿い(寒別・倶知安橋間)に整備されたサイクリングロード。
- ・ 大部分が河川から少し離れてルートを設定しており、河川沿いの植物も繁茂しているため、ルートから川面が見えづらく親水性は低いと言える。



⑰ 旭ヶ丘公園散策路

- ・ 旭岳保健保安林の豊かな自然の中を散策できるルート。
- ・ 散策路から旭ヶ丘公園の山頂やキャンプ場にアクセスでき、市街地や羊蹄山を望むことができる。



⑱ ひらふ散策路

- ・ ひらふ地区からヒルトンニセコビレッジを春滝コースと弘法コース2つのコースでつなぐ散策ルート。
- ・ 登山感覚を味わいながら、季節毎の草花や樹木の移り変わりや途中羊蹄山への眺望を楽しむことができる。



⑲ 鏡沼散策路

- ・ HANAZONOゴルフコースから鏡沼を通り、道道58号へつなぐ散策ルート。
- ・ ジャコ川の清流の心地よさを感じながら、季節毎の草花や樹木を楽しむことができる。鏡沼には周囲の景色が鏡のように映り込む。



⑳ 半月湖散策路

- ・ 半月湖の外周を散策できるルート。
- ・ 林の中を歩き、季節毎の草木や野鳥やリスなどの動植物とのふれ合いを楽しむことができる。半月湖には、雄大な羊蹄山が映り込む。



㉑ 羊蹄山倶知安ひらふコース

- ・ 半月湖に近接する倶知安ひらふコース登山口から羊蹄山山頂を繋ぐ登山ルート。
- ・ 始めは比較的緩やかな傾斜の林間コースで、4合目付近から一度開けて倶知安市街を見下ろす。火口を一周すると周辺町村の市街地や周囲に広がる山々など眼下に広がる雄大な景色を望むことができる



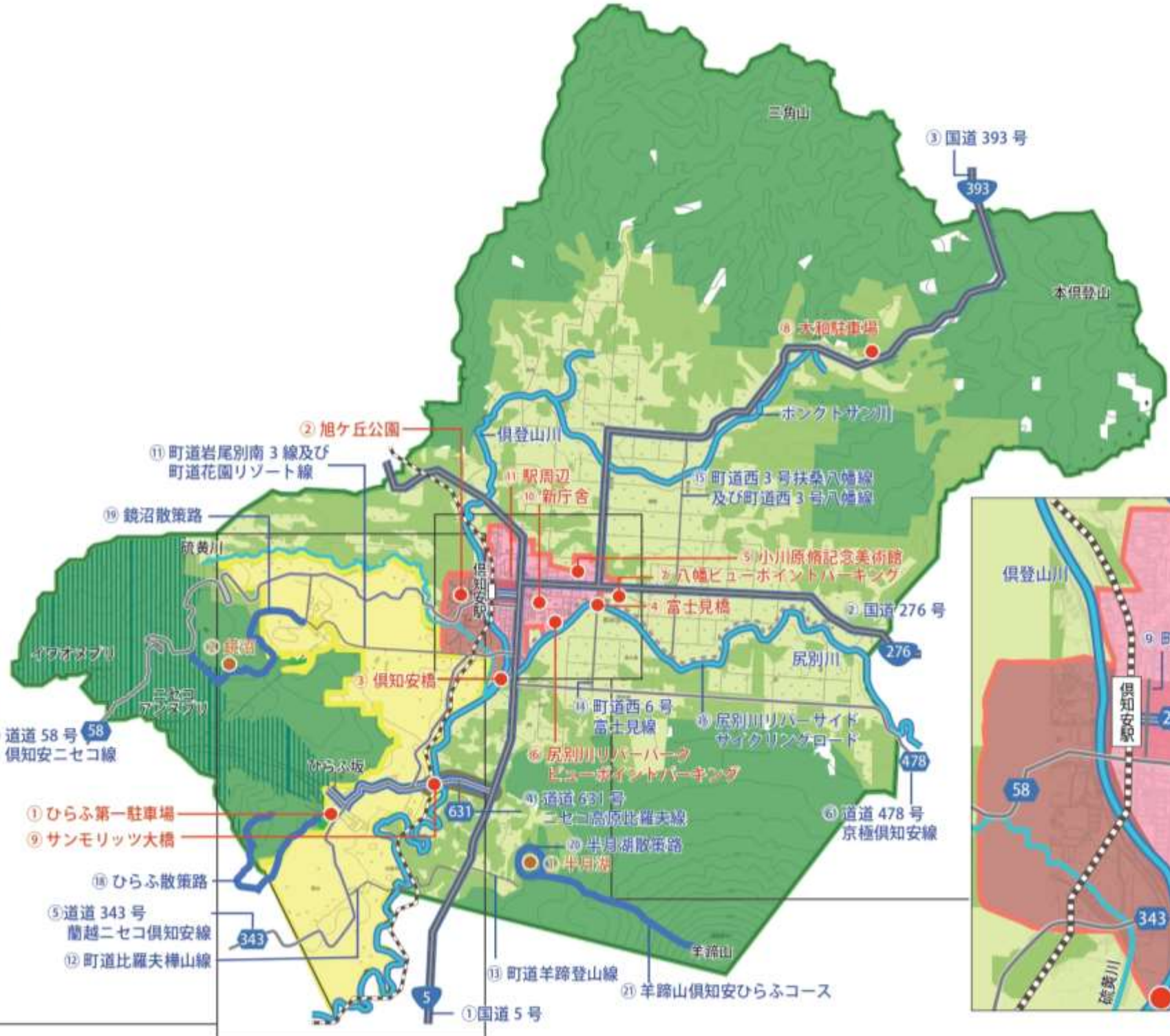
■視点場(点)による景観要素と課題 ※黒字：景観要素、青字：検討すべき課題など

(1) 山並みや街並み景観への視点場			
視点場	対象		対象
①ひらふ第一駐車場 - ひらふ第一駐車場からは羊蹄山とひらふ地区を一望することができる。 - 周辺の中高層のホテル等は、建築物の高さ制限を設けているため、駐車場から羊蹄山の稜線を著しく阻害するような状況にはない。 - 今後ひらふ第一駐車場は、広場の整備や交通拠点としての機能強化、新たな機能導入などにより、シンボルとなる空間へ再整備が予定されている。	羊蹄山		⑥尻別川リバーパークビューポイントパーキング(町道南1線八幡寒別線) 倶知安橋西側から富士見橋方面まで続く、尻別川の河川敷地を活用した公園(河川緑地)で、羊蹄山やニセコ連峰を望むことができる。
	街並み		
②旭ヶ丘公園 - 広大な面積の旭ヶ丘公園は、いたるところで遠景の羊蹄山を望むことができる。 - 旭ヶ丘公園の山頂からは市街地を見下ろす眺望があり、公園の緑地越しに遠景には丘陵地帯や営農地域など、立体的な広がりを眺める。また、羊蹄山から市街地へ変化する町の特徴的な地形が見られる。	羊蹄山		⑦八幡ビューポイントパーキング(国道276号) - シーニックバイウェイのビューポイント。 - 電柱・電線が羊蹄山への眺望の妨げになっていたが、老朽化による更新移設(2017年)に伴い改善され、羊蹄山を一望できるスポットとなっている。
	街並み		
③倶知安橋(レルヒ公園、国道5号) 倶知安橋からは尻別川とその河畔林の緑を手前に、羊蹄山とニセコ連峰を一度に望むことができる。	羊蹄山		⑧大和駐車場(国道393号) - 倶知安町字大和にあるパーキングエリア。 - 駐車場からは羊蹄山とニセコ連峰を一度に望むことができる。秋には紅葉が美しい。
	ニセコ連峰		
	尻別川		
④富士見橋(尻別川リバーパーク、町道西6号富士見線) 富士見橋の周囲には農地が広がり高い建物等が無いため、尻別川とその河畔林の緑を手前に、羊蹄山とニセコ連峰を一度に望むことができる。	羊蹄山		⑨サンモリッツ大橋 国道5号とニセコひらふ地区を繋ぐサンモリッツ大橋からは、羊蹄山とニセコ連峰、ひらふ地区のまちなみを望むことができる。
	ニセコ連峰		
	尻別川		
⑤小川原脩記念美術館 - シーニックバイウェイのビューポイントとなっている。 - 周囲の自然の風景に溶け込む落ち着いたきのある建築物で、美術館の奥に羊蹄山を望むことができる。また、室内にも広い窓から羊蹄山を見ながら休憩ができるロビーが設置されている。	羊蹄山		⑩役場新庁舎 新庁舎には展望デッキが設置される予定であり、高さ約10mからの景色は羊蹄山とニセコ連峰を望むことができる。
			⑪駅周辺 - 倶知安駅から南東側に羊蹄山への眺望がある。 - 将来の新幹線開業を見据え駅周辺の土地取引が進み、建物の更新も見込まれるため、地上からの羊蹄山への眺望確保が困難となる可能性がある。新駅舎や都市施設などからの羊蹄山への眺望の確保が求められる。

(2) 湖沼 (景観資源)

①半月湖 - 半月湖は羊蹄山の北西山麓、海拔270mにある湖であり、爆裂火口に水が溜まった平均水深4m、最深部18.2mの火口湖。国の天然記念物に指定されている。 - ヤマザクラなどの花が咲く春や、紅葉が美しい秋など季節毎の景色が湖面に映り込む。		②鏡沼 - 鏡沼はニセコアンヌプリの北東斜面中腹(標高570m)に位置する。主に雪解け水によって維持されている。 - 沼の対岸にはミズナラ・イタヤカエデ・ホオノキなどの巨木が厳正に近い森林として存在する。 - 水面に季節ごとの周囲の景色が映し出され、鏡のような光景になる。沼には浮島があり風により少しずつ移動している。	
---	---	---	---

景観地区拡大図



市街地拡大図



- 凡例
- 地域(面)
- | | | |
|--------------|---------------|-------------------------|
| (1) 市街地地域 | (2) リゾート地域 | (3) 樺山地域 |
| ① 駅前地域 | ① ニセコひらふ地域 | ③ 樺山地区 |
| ② 住環境形成地域 | ② 国定公園地域 | ④ 市街地近接地域 |
| ③ 旭ヶ丘丘陵地域 | ③ センタービレッジ地区 | ④ 東岩尾別地区 |
| (3) 農業・森林地域 | ④ 山田II地区 | ⑤ 外縁地域 |
| ① 営農地域 | ⑤ ペンションビレッジ地区 | ⑥ 双子山地区 |
| ② 森林地域 | ⑥ 山田I地区 | ⑦ 西岩尾別・旭・花園地区 |
| (営農地域かつ森林地域) | ⑦ 大沢川沿い地区 | ⑧ ワイススキー場地域・ひらふゲートウェイ地域 |
| | ⑧ 羊蹄の里地区 | |
| | ⑨ 花園ビレッジ周辺地域 | |
| | ⑨ 花園ビレッジ地区 | |
| | ⑩ ノースヒルズ地区 | |

- 軸(線)
- | | |
|-----------|------------------------|
| (1) 水辺景観軸 | (2) 道路景観軸 |
| ・尻別川 | ① 国道5号 |
| ・倶登山川 | ② 国道276号 |
| ・ボンクトサン川 | ③ 国道393号 |
| | ④ 道道631号ニセコ高原比羅夫線 |
| | ⑤ 道道343号蘭越ニセコ倶知安線 |
| | ⑥ 道道478号京極倶知安線 |
| | ⑦ 道道58号倶知安ニセコ線 |
| | ⑧ 道道271号倶知安停車場線 |
| | ⑨ 道西3丁目北・南通 |
| | ⑩ 北3条西通 |
| | ⑪ 町道岩尾別南3線及び町道花園リゾート線 |
| | ⑫ 町道比羅夫樺山線 |
| | ⑬ 町道羊蹄登山線 |
| | ⑭ 町道西6号富士見線 |
| | ⑮ 町道西3号扶桑八幡線及び町道西3号八幡線 |
| | ⑯ 尻別川リバーサイドサイクリングロード |
| | ⑰ 旭ヶ丘公園散策路 |
| | ⑱ ひらふ散策路 |
| | ⑲ 鏡沼散策路 |
| | ⑳ 半月湖散策路 |
| | ㉑ 羊蹄山倶知安ひらふコース |

- 視点場(点)
- | | |
|-------------------------|--------------|
| (1) 山並みや市街地景観への視点場 | (2) 湖沼(景観資源) |
| ① ひらふ第一駐車場 | ① 半月湖 |
| ② 旭ヶ丘公園 | ② 鏡沼 |
| ③ 倶知安橋 | |
| ④ 富士見橋 | |
| ⑤ 小川原脩記念美術館 | |
| ⑥ 尻別川リバーパークビューポイントパーキング | |
| ⑦ 八幡ビューポイントパーキング | |
| ⑧ 大和駐車場 | |
| ⑨ サンモリッツ大橋 | |
| ⑩ 新庁舎 | |
| ⑪ 駅周辺 | |
| ⑫ 山並みや市街地景観への視点場 | |
- 町域
- JR
- 国道
- 道道
- 町道
- 河川